

第 3629 図

あかさ科



第 3630 図

**ほそぼあかさ**  
*Chenopodium album* L.  
var. *stenophyllum* Makino  
(= *C. stenophyllum* Koidzumi)

所々に見られる 1 年生草本で、茎は高さ 40 cm-1m になり、緑色の縦条があり、よく分枝する。若芽には白色の粉状物を密につけるが直ちに落ちる。葉は柄があり互生し、長楕円形で先は短く尖り基は楔形、縁にあらい少数の鋸歯があり、長さ 2-5cm 巾 5-15mm、質やや厚く、枝先の葉は小さくなり線状披針形全辺になる。秋、枝先に密な長い穂をなし側穂は短く、淡緑色の小花がかたまつてつき、白色の粉状物を散布する。花は径 1.5mm 許、萼は 5 深裂し、裂片は卵形で背部は緑色である。無花弁、5 雄蕊、2 花柱。果は扁球形で萼に包まれ、種子は径約 1mm、平滑である。アカザに比べ、葉は主茎のものも狭く長楕円形、花穂は細長く密である。

**しゃくちりそば (赤地利)**  
*Fagopyrum cymosum* Meissner

印度北部及び支那原産の多年生草本で、近年所々で栽培され又野生化している。全体殆ど無毛で、茎は太い根茎から簇生し、中空で下部は紅色をおびる。葉は長い柄があり互生し、3 角形で下部のものは円味があるが、上部のものは長く尖り、基は心臟形で戟状をし、主脈は紅色をおびる。秋、上部葉腋から長い花茎をだし、1 側に細毛があり、先は 2-3 岐し、枝は外へ彎曲して上側に密に白花をつける。苞は披針形で緑色、花梗は細く、花は径 5-6mm、花被片は 5 枚あり長楕円形。雄蕊は 8 本で葯は紅色。花柱は 3 本、8 個の黄色棍棒状の小腺体が基をとりまく。果は 3 稜形で長さ 7-9mm、稜は鋭く、栗褐色に熟す。

**あざぶたて**  
一名えどたて

*Polygonum Hydropiper* L.  
var. *fastigiatum* Makino  
(= *P. fastigiatum-ramosum* Makino)

庭先や畑地に栽培される 1 年生草本。茎は高さ 30-50cm、基から多くの枝を分けて叢生し、節はふくらみ、密に葉をつける。葉は披針形で基は細まって短い柄になり、長さ 2-5cm 巾 3-10mm、殆ど無毛で細腺点がある。葉鞘は短く、膜質で上縁にだけ毛がある。秋、枝先に細い穂を出し、下部の花は離れてつく。萼は長さ 1.5-2mm、白色で時に淡紅をおび基部は淡緑色、4-5 深裂し、細腺点がある。無花弁、6 雄蕊、2 花柱。瘦果はレンズ状で長さ 1.5mm 黒褐色。葉は辛味料として用いられる。ヤナギタデに比べ枝・葉は密につき各部小形である。葉が狭線形をした一品をイトタデ (*f. angustissimum* Makino) と呼ぶ。

たて科



第 3631 図

たて科



**しろばなさくらたて**

*Polygonum japonicum* Meissner  
(= *Persicaria japonica* Nakai)

日本・支那の水湿地にやや普通に生ずる多年生草本で、地下には長い匍枝を出す。茎は高さ 30-100cm、節は少しふくらみ紅色をおび、葉鞘は長さ 1-2.5cm、粗伏毛があり、上縁に長い鬚毛が列生する。葉は披針形で尖り、長さ 5-15cm 巾 1-2.5cm、質やや厚く縁部や中肋上には伏毛がある。秋、枝先に数個の細長い花序をつけ、上部は垂れ、白花を開く。萼は 5 深裂し、長さ 3mm 内外で半開する。無花弁。雄蕊は 8 本、花柱は 3 又は 2 本、株により長雄蕊短花柱の花と、短雄蕊長花柱の花とがある。瘦果は倒卵形で 3 稜形又はレンズ形である。サクラタデに比べ、花は白色小形で平開しない。

**ほそぼのやのねぐさ**

一名ながぼのやのねぐさ

*Polygonum breviochreatum* Makino  
(= *Persicaria breviochreata* Ohki)

関東以西、朝鮮の山地林下に生ずる 1 年生草本である。茎は分枝して下部伏臥し、枝先は斜上、平滑又は 1 側に長い逆行刺毛がある。葉鞘は短く長さ 2-6mm、特に口縁に長い毛があり、ゆるく茎を包む。葉は短い柄があり、長楕円形乃至披針形で先は尖り、基は浅い戟形又は心臟形をし、長さ 1-8cm 巾 7-20mm、上面及び下面脈上に毛を散生する。秋、枝先に 1-3 花からなる疎な穂をつける。花茎は細く上部に毛があり、苞は小さく毛がある。花は帯紅淡緑色、萼は 5 深裂し、無花弁。瘦果は卵形、3 稜形又はレンズ形で長さ 2.5mm、淡褐色である。

**ほそぼのらなぎつかみ**

*Polygonum hastato-auriculatum*  
*Makino*  
(= *Persicaria hastato-auriculata*  
*Nakai*)

関東以西、四国、九州の水湿地に産する 1 年生草本である。茎は分枝して下部は横臥し、稜上に普通逆向したやや長い刺がある。葉は柄があり、長楕円状乃至狭披針形で先は尖り基は通常戟形をなし、側片は往々耳状に下方へ彎曲し、長さ 2-9cm 巾 3-18mm、縁には短毛がありざらつく。葉鞘は長 8-20mm、膜質で基に逆毛がある外は無毛である。秋、葉腋や枝先から花茎をだし、2-3 分岐して疎に穂状に花をつける。花軸は上部に少し腺毛を散生し、苞は小さく卵形でほぼ無毛。花は淡紅色、萼は 4 深裂、無花弁、雄蕊は 4-6 本。瘦果はレンズ形又は 3 稜形褐色で長さ約 1.8mm。

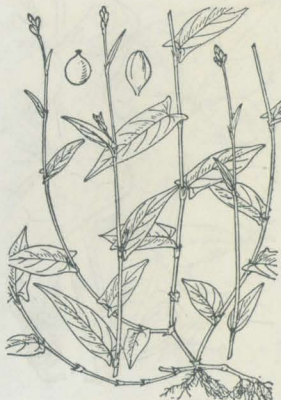
第 3632 図

たて科



第 3633 図

たて科



第 3634 図

たて科

